

別記
第1号様式(第14条関係)

環境マネジメントシステム導入報告書

| | |
|--|---|
| (宛先) 京 都 府 知 事 | 平成28年 7月29日 |
| 住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地) 広島県福山市曙町1丁目13-15 | 氏名(法人にあっては、名称及び代表者の氏名) 代表取締役社長 佐藤 守正 |

| | |
|--|--|
| 環境マネジメントシステムの名称 | エフピコエコアクション50 (FPEA-50) |
| 適用範囲 | エフピコ及びエフピコグループ |
| 導入年月日 | 2006/4/1 |
| 認証番号 | 自社独自マネジメント。第三者認証の取得はなし |
| 基本方針 | 【別紙にて記載】 エフピコホームページを参照 http://www.fpco.jp/csr/environmenteffort.html |
| 環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標(以下「目標」という。) | 【別紙にて記載】 エフピコグループの長期目標 エフピコレポート2016 35Pを参照 |
| 目標を達成するための取組の内容 | 【各部門2015年度までの目標】・全製品を対象としたライフサイクル全体のCO2見える化 ・製品の軽量化(2007年度比11%削減) ・生産量あたり電力量の削減(2007年度比14%削減) ・物流のCO2削減(2008年度比総量を22%増に抑える) ・オフィスの環境負荷の見える化及び削減 ・容器及びPETボトルの回収・リサイクルの推進 ・低炭素型製品であるエコトレーの販売拡大 etc ※2016年度以降の目標は策定中 |
| 目標を達成するための取組の進捗状況 | 長期目標について ・2003年度比 総排出量 29%増加(2015年度実績) ・2003年度比 排出原単位 12%削減(2015年度実績) ※設備の増設及びM&Aによる製品出荷の増大、電力会社のCO2排出係数が悪化した影響が出ている |
| 目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価 | ・11%の容器軽量化実施(2007年度比) ・生産量あたり、8%の電力使用量の削減(2007年度比) ・物流時のCO2 15%増加 ・エコトレーの販売、汎用トレーの57%。 各部門の目標に対して、2015年度もおおむね順調に推移した。物流においては販売増に伴いCO2総量は大幅に増加したが、才数当たりの原単位は削減できている。 |
| 事業活動に係る法令の遵守の状況 | 事業活動における法律遵守については、「法的要求事項チェックリスト」及び「遵守評価表」を用いて各工場でチェック及び評価を実施。各事業所(亀岡工場も同様)とも法令遵守を確認している。特に問題はなし。 |
| 環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容 | 環境マネジメントシステムについては問題なく対応できている。企業合併による新規のグループ会社に対してのマネジメントシステム導入についても随時実施する。 |

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムについて第三者の認証を受けている場合のみ記入してください。